

The EBARA

報告書 | 2018年1月1日 — 2018年6月30日

巻頭
特集

持続可能な社会の構築に貢献する
環境プラント事業を知る

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead > Beyond

The EBARA

報告書 | 2018年1月1日 — 2018年6月30日

目次

- 01 イントロダクション
- 03 巻頭特集
「持続可能な社会の構築に貢献する 環境プラント事業を知る」



- 05 トップメッセージ



- 07 セグメント情報



- 09 海外展開

- 10 トピックス



- 11 ステークホルダーとの関わり

- 13 財務情報

- 14 企業情報

詳しい業績情報は
当社WEBサイトへ



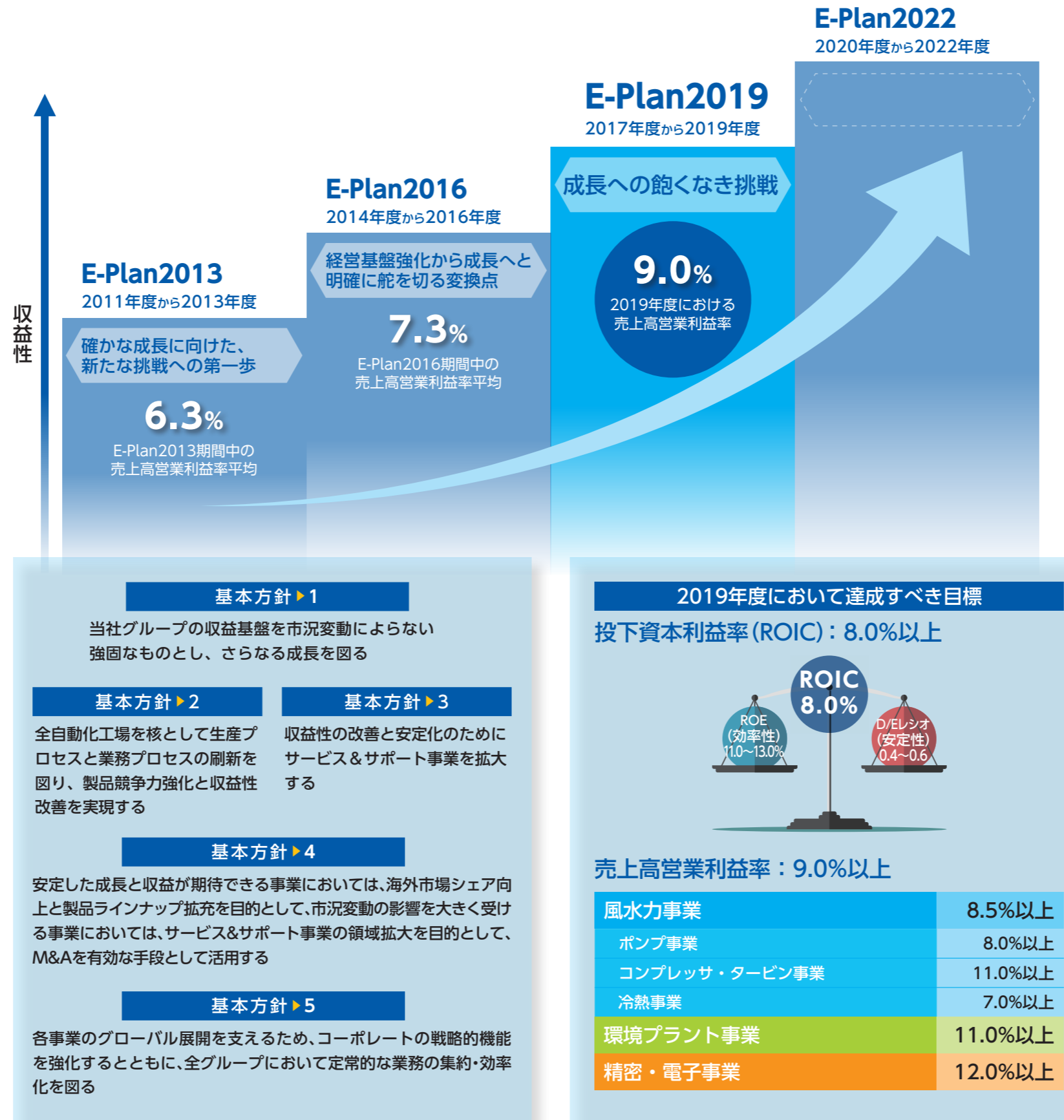
<https://www.ebara.co.jp/about/ir/index.html>

中期経営計画 [E-Plan2019] 成長への

世界規模で事業展開し成長する産業機械メーカーへとさらなる全事業の収益性を徹底的に改善することを目標とし、「成長へ

飽くなき挑戦

発展を目指すために、「成長への飽くなき挑戦」を実行していきます。



創業の精神「熱と誠」



与えられた仕事をただこなすのではなく、
自ら創意工夫する熱意で取り組み、
誠心誠意これをやり遂げる心をもって仕事をすること。
そして、何事も熱意と誠心をもって人に接すれば、
相手に通じないことはない。

企業理念

水と空気と環境の分野で、優れた技術と
最良のサービスを提供することにより、
広く社会に貢献する。

ブランドステートメント

Looking ahead,
going beyond expectations

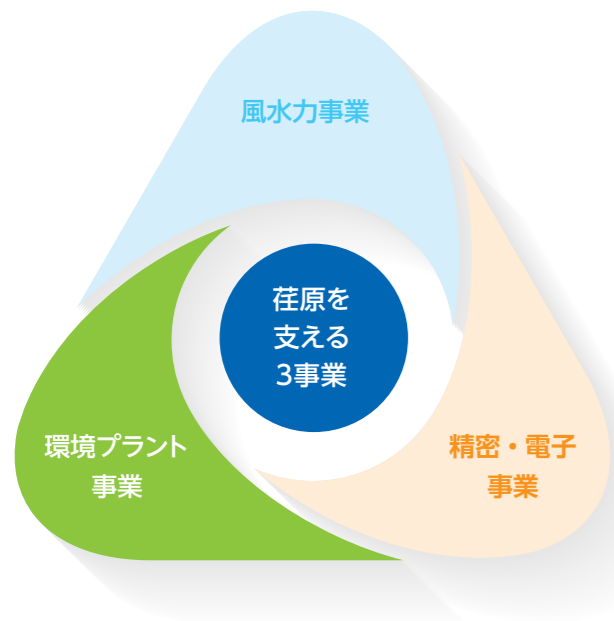
Ahead ▶ Beyond

業界を牽引するリーディングカンパニーとして、期待
や想像を超える製品やソリューションをご提供してい
きます。また、「Ahead, Beyond」には、決して現状に満足
することなく、常にさらなる高みを目指し挑戦し続ける
当社の企業精神も込められています。

環境プラント事業を知る

創業以来のポンプ事業に加えて「**水処理技術**」と「**燃焼技術**」をコアコンピタンスとして廃棄物処理施設の建設だけにとどまらない、持続可能な社会の構築に貢献する製品と

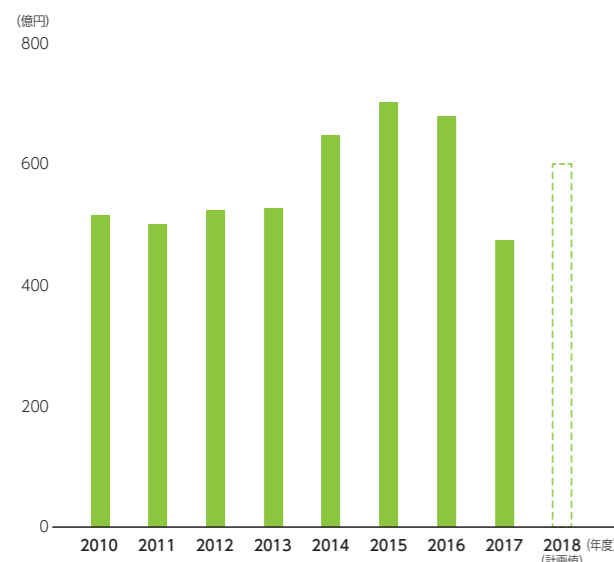
発足した環境プラント事業。1961年、青森市にストーカ式都市ごみ焼却施設を納入して以来、サービスを提供しています。



強み

国内の廃棄物処理施設 累計納入数 300施設以上 (46都道府県に納入)	廃棄物処理施設での 累計運転管理受託数 80施設以上
廃棄物処理施設 第1号納入から 半世紀以上	運転管理施設の 発電量(2017年度) 約19万世帯分

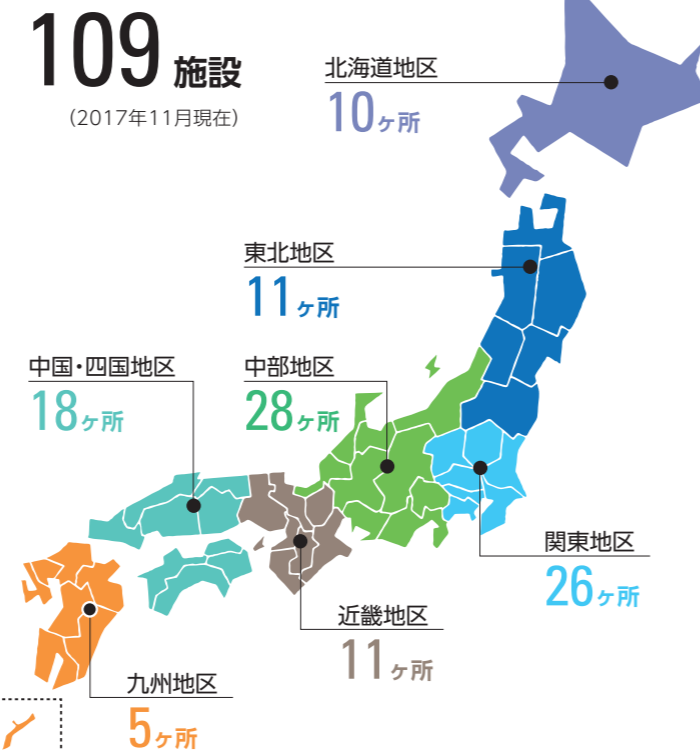
売上高推移



※2017年度は決算期変更により、2017年4月から2017年12月までの9か月間となります。

現在稼働中の焼却施設

全国規模で納入



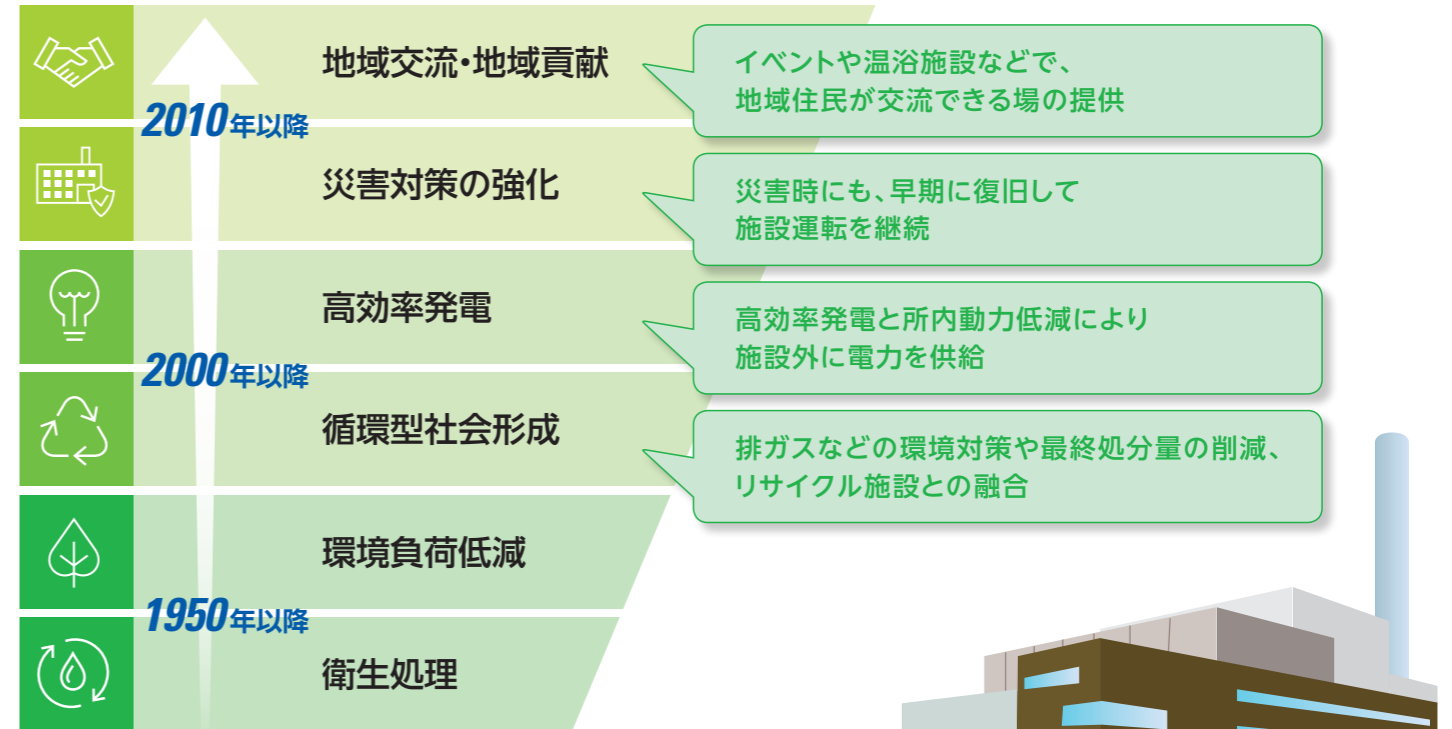
ビジネスモデル

EPCからO&Mまで信頼の一貫体制

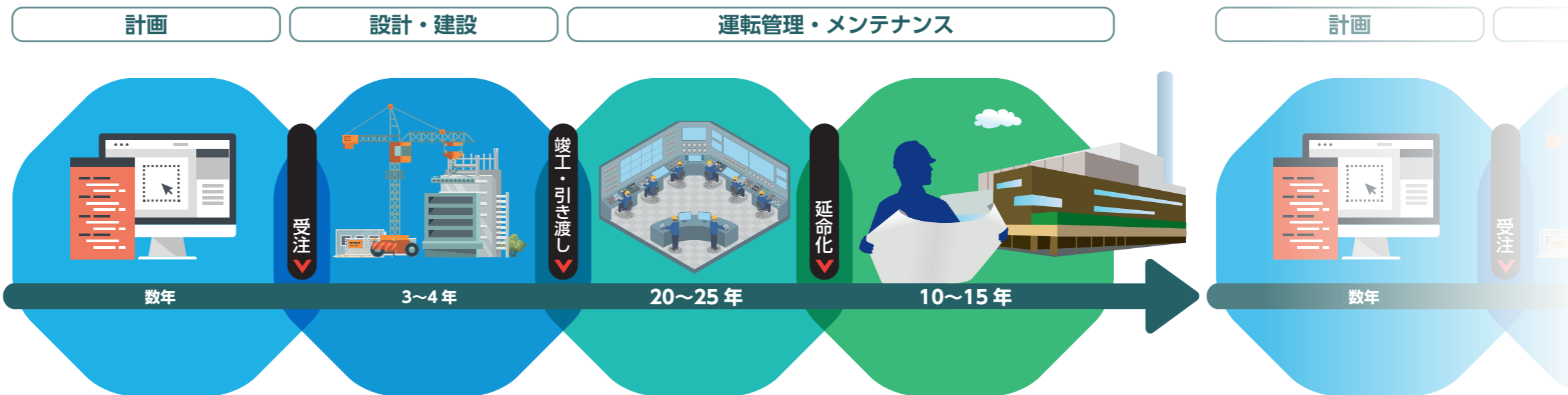
当社では、設計・調達・建設(EPC)と運転管理・メンテナンスな施設設計と、その設計思想を引継ぎ、適切な運転管理・強みです。また、当社の技術を活かした長期包括運営委託や

事業環境

社会の変化、エネルギー問題等の多様化するニーズに対応



(O&M)を一貫して請け負う体制を構築しています。豊富なO&M受託実績により集積したノウハウを活かした機能的メンテナンスを実現する、EPCとO&M双方の綿密な連携により、安全・安心のトータルソリューションを提供できることがプラント延命化により施設を長期にわたり維持していくことで、地域社会に根付いた貢献を目指します。



世界規模で事業展開し成長する 産業機械メーカーを目指し、 「成長への飽くなき挑戦」を 実行していきます。

代表執行役社長 **前田 東一**



企業価値向上に向けた取組について

創業以来、水と空気と環境の分野で社会に貢献するため、人々の暮らしに欠かせない社会・産業インフラの構築、維持、改善に向けて製品、サービスを提供し続けるとともに、時代における社会のニーズを捉え、その課題の解決に取り組むことで、企業価値の向上に努めてきました。

当社の事業領域は人口増加や生活水準の向上に伴い、今後もグローバルに拡大していく市場です。私たちはこれからも事業環境を通じて様々な社会課題の解決に挑戦し、社会や環境をよりよいものにしていきたいと考えています。

事業活動を進めていくためには、今まで以上にサステナビリティを意識し、環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)の分野における課題と対応方針を明確にし、それら

非財務情報の開示を積極的に行うことによりステークホルダーの皆様のご理解と信頼を得ることが重要と考えています。

当期、当社は社会とともに持続的に成長し、企業価値をさらに向上させていくため、グローバルガイドライン(GRI Standard, SASB, ISO26000, SDGsなど)を参照し、優先的に取り組むべき「8つのESG重要課題(マテリアリティ)」を選定し、それらの課題解決に向けた「6つの対応方針」を策定しました。これらの6つの対応方針には、達成状況を確認するための目標とKPIを設定し、継続的に重要課題解決の促進を図ってまいります。

第154期第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、米国に

おいては着実な景気回復が継続しており、中国を始めとしたアジア新興国などでは景気持ち直しの動きが見て取れました。また、石油・ガス市場では原油価格の上昇によって設備投資意欲が緩やかながら回復してきています。

このような事業環境のもと、当社グループの受注高は3,008億5百万円、売上高は2,512億57百万円、営業利益は147億22百万円、経常利益は141億71百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は減損損失及び訴訟損失引当金繰入額の計上などにより74億71百万円となりました。

受注高は、環境プラント事業及び精密・電子事業の増加により、全体としては前年度同一期間を上回りました。売上高は、環境プラント事業及び精密・電子事業の減少により前年度同一期間を下回りました。営業利益は、風水力事業の減少により前年度同一期間を下回りました。

下期も当期目標を達成すべく、全グループ一丸となって邁進してまいります。

株主還元について

当社は株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針の一つとして位置付けており、連結総還元性向30%以上を目標に当該期の業績に連動して実施する方針としています。この方針に基づき、当期の中間配当金は期初の計画どおり1株当たり30円とさせていただきます。

ESG重要課題及び対応方針の詳細は
当社WEBサイトへ

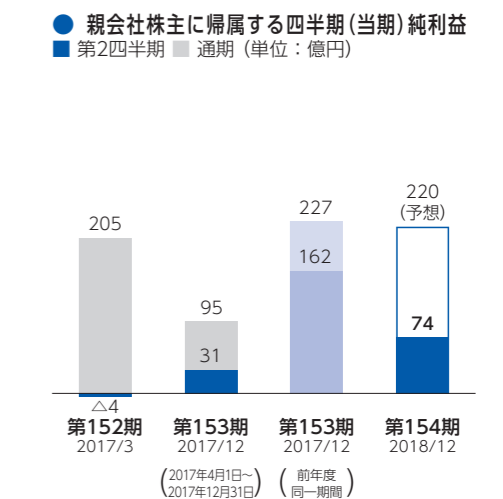
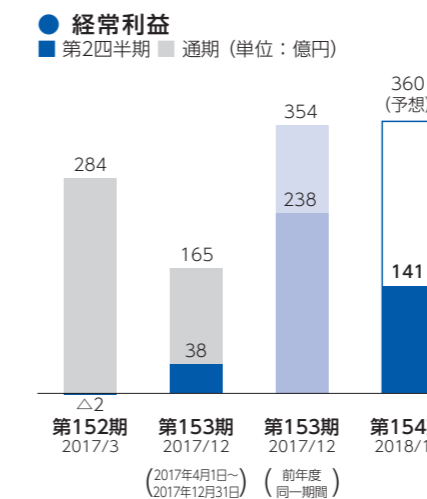
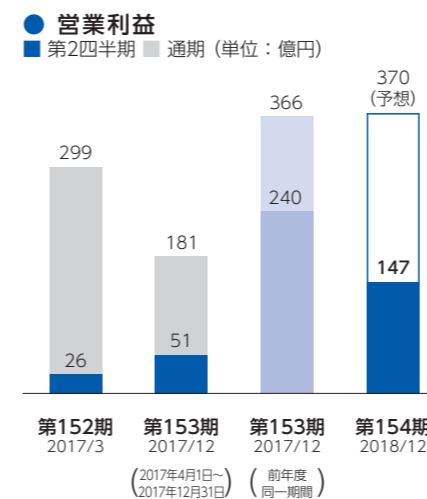
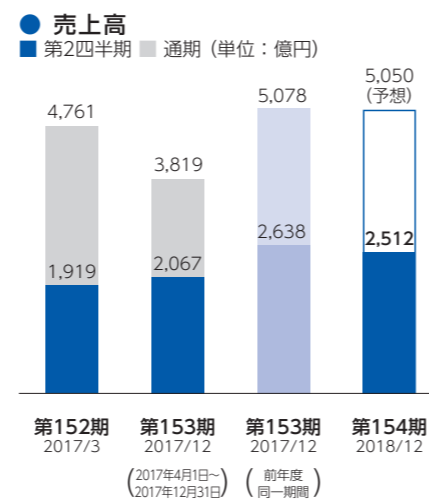


<https://www.ebara.co.jp/about/csr/ethics/materiality/index.html>

連結業績ハイライト

売上高	2,512億円	前年度 同一期間比	4.8%	↓
営業利益	147億円	前年度 同一期間比	38.8%	↓
経常利益	141億円	前年度 同一期間比	40.5%	↓
親会社株主に帰属する 四半期純利益	74億円	前年度 同一期間比	54.0%	↓

※当社は、前連結会計年度より当社及び従来3月決算であった連結子会社の決算日を3月31日から12月31日に変更し、当社と連結子会社の決算日を12月31日に統一しました。増減については「前年度同一期間」との比較で記載しています。(前年度同一期間とは、当第2四半期連結累計期間(2018年1月1日から2018年6月30日)に対応する期間(2017年1月1日から2017年6月30日)を指します。)





風水力事業

売上高 1,543億円
前年度同一期間比 0.4%減

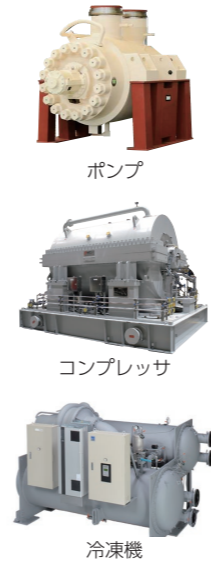
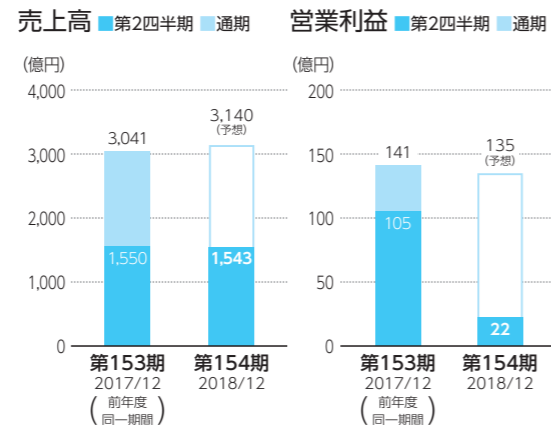
営業利益 22億円
前年度同一期間比 78.5%減

主要製品

ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷熱機械、送風機

POINT

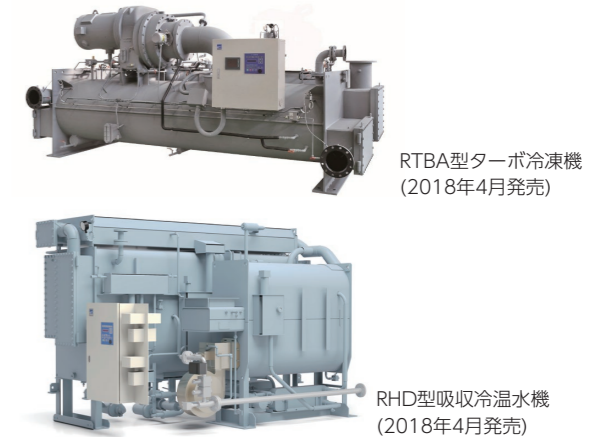
- ポンプ事業は海外の石油・ガス関連の受注が伸ばしたほか、国内の建築設備向けの受注が回復。
- コンプレッサ・タービン事業は中国、インドにおける石油化学・石油精製プラント向け大型案件を受注。
- 冷熱事業は国内の受注が下がったものの、中国の受注は堅調に推移。



● 環境配慮型製品「新型ターボ冷凍機」「新型吸収冷温水機」を発売

風水力事業は、新製品「RTBA型ターボ冷凍機」と「RHD型吸収冷温水機」を発売しました。RTBA型ターボ冷凍機は、従来の冷媒(熱を移動させるために用いる物質)と同等以上の性能や安定性を持ちながら、温暖化係数(GWP: Global Warming Potential)の低い新しい冷媒を採用しました。この冷媒は不燃性であり、取扱いも容易であるため、地球温暖化への影響の低減と、安全・安心を両立した製品となっています。また、RHD型吸収冷温水機は、新たに開発した始動時間を短縮する制御機能を搭載し、始動にかかるエネルギーを半減しました。さらに、省エネ運転モードの搭載、吸収溶液(蒸発した水を吸収する液体)の使用量削減により、省エネルギー化と省資源化を実現した製品となっています。

今後も環境負荷低減を追求した製品と、その運用を支えるサービス&サポートにより、地球温暖化防止など環境保全に貢献してまいります。



環境プラント事業

売上高 293億円
前年度同一期間比 17.3%減

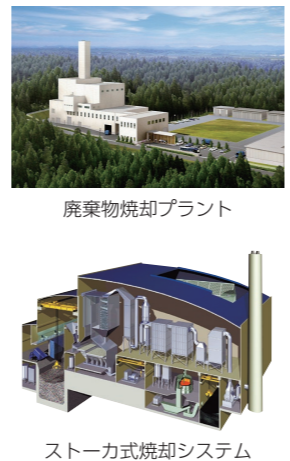
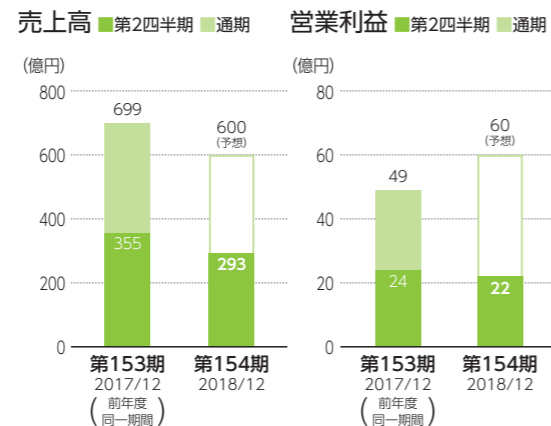
営業利益 22億円
前年度同一期間比 10.4%減

主要製品

都市ごみ焼却プラント、産業廃棄物焼却プラント、バイオマス発電プラント

POINT

- 公共向けのごみ処理施設の建設から長期的な運営までを含めたDBO方式による案件、長期包括及び延命化等の既存施設の運転管理・メンテナンス(O&M)案件が堅調に推移。
- 民間企業でのバイオマス等を用いた発電施設の建設需要が継続。



● 藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業を受注

環境プラント事業は、藤沢市より、藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業を受注いたしました。本件は、既存の北部環境事業所2号炉を解体し、エネルギー回収型廃棄物処理施設を新たに建設し、その後20年間の長期に渡る運転管理、メンテナンス、電力需給管理などの運営を包括的に行う事業です。

自社技術により廃棄物を適正に処理するだけでなく、ごみ焼却熱を有効活用して高効率発電を行うなど、地域環境に考慮した施設の建設と運営を行います。また、地震に対する施設の強靱化を図り、大規模災害時の復興を支援する拠点として、地域住民の方々に安心で安全な生活を提供します。

今後も、ごみ処理施設の建設と運営を通じて循環型社会の形成に貢献し、環境プラント事業の価値向上に努めてまいります。



藤沢市北部環境事業所新2号炉 完成予想図



精密・電子事業

売上高 667億円
前年度同一期間比 7.9%減

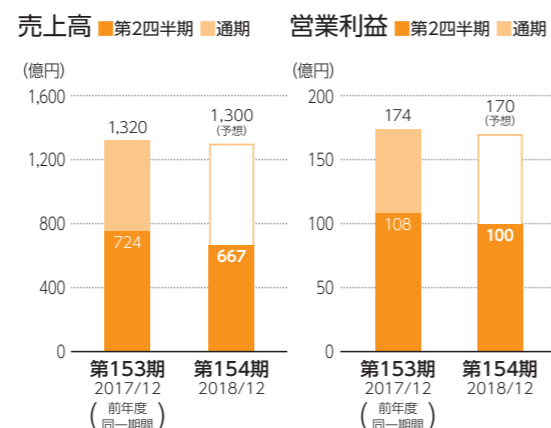
営業利益 100億円
前年度同一期間比 7.1%減

主要製品

真空ポンプ、CMP装置、めっき装置、排ガス処理装置

POINT

- 半導体関連の設備投資が依然として好調に推移。
- メモリ向けを中心に受注が伸長。



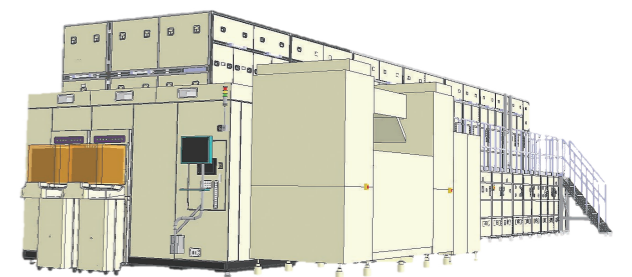
● 第3の柱の事業化に向けた営業活動を展開

精密・電子事業は、半導体実装用めっき装置「UFP600AS型」を昨年12月に発表し、大手半導体メーカーなどのお客様に営業活動を行っています。

本新型装置は、従来機種が達成してきた高いめっき処理性能を継承し、大型化する角基板に対応した高速搬送機構や高い面均性能を達成するめっき槽の開発を推進することで、業界最高レベルのプロセス性能を達成することができました。

今後も最先端のパッケージ、半導体実装マーケットにおける高度なニーズに応え、中期経営計画E-Plan2019に基づき、CMP装置及びコンポーネント機器に次ぐ第3の柱の事業化に向け、邁進してまいります。

※めっき装置: 半導体チップの信号通信や電源供給の配線として必要となる金属材料の膜を、電解めっき手法を用いて千分の1ミリ単位で生成する装置



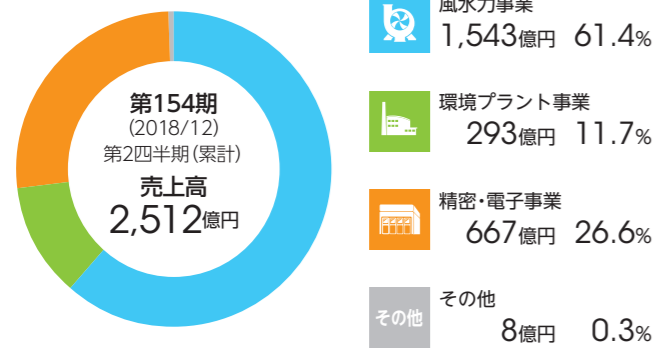
UFP600AS型めっき装置 完成図

※記事中の「○○○型」は、当社の機種記号です。

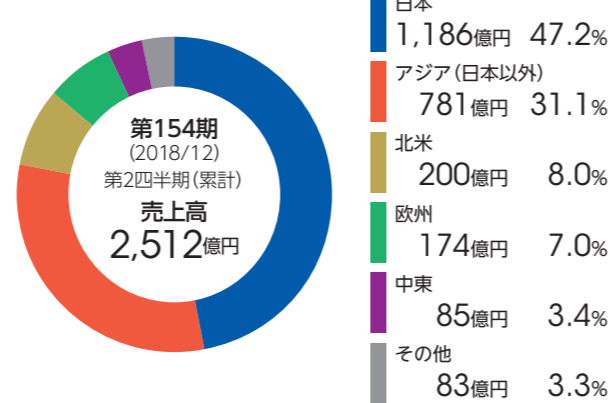
Global View

海外展開 (2018年6月30日現在)

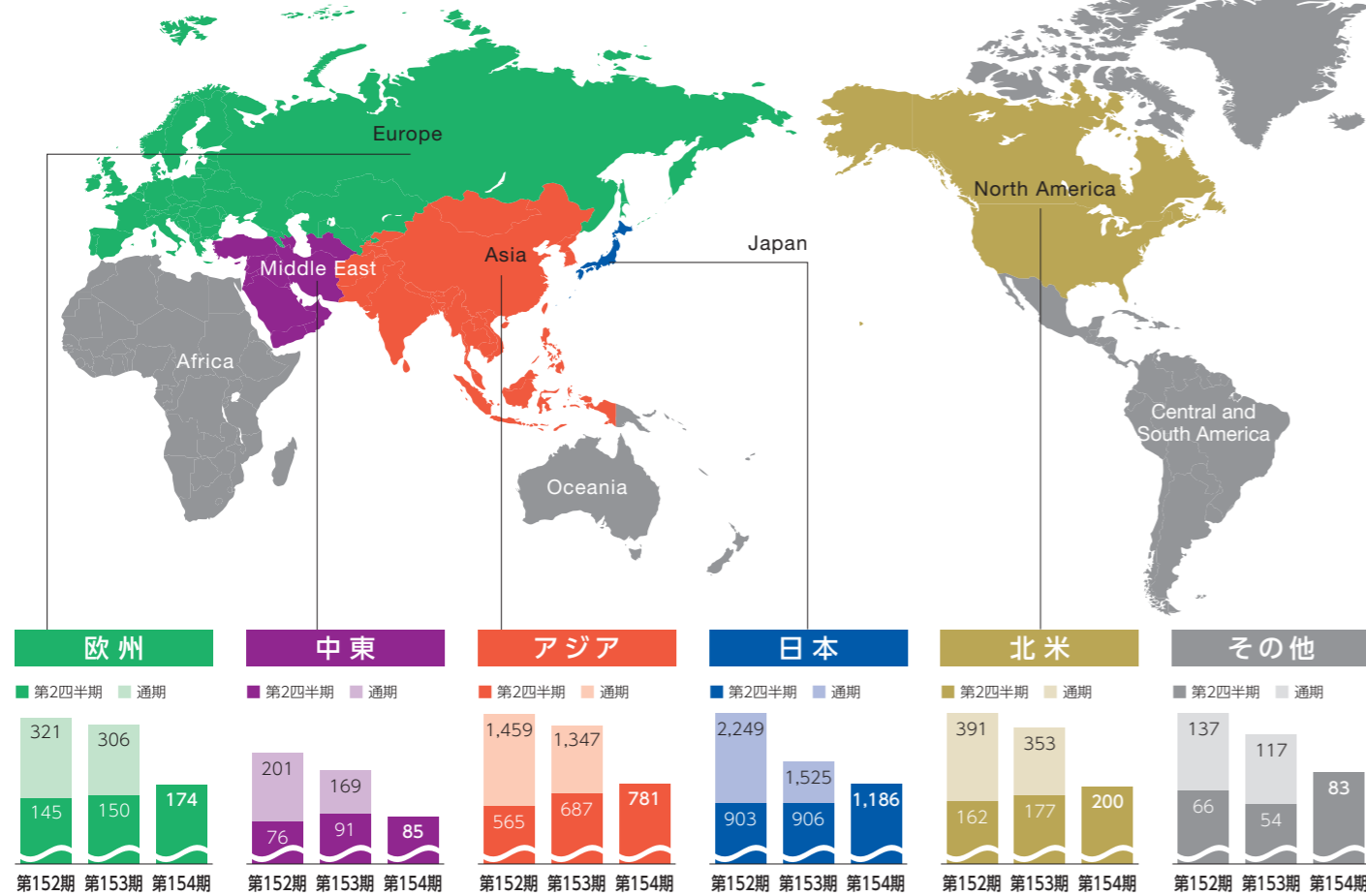
事業別連結売上高



地域別連結売上高



地域別売上高の推移 (単位:億円)



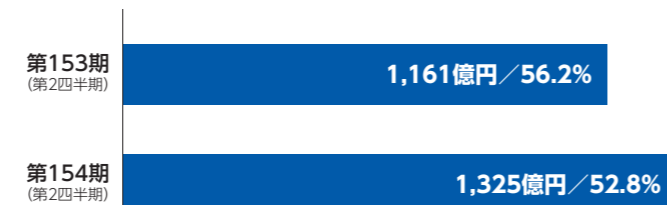
国内・海外の関係会社数

97社

海外	
関係会社	64社
● アジア	31社
● 北米	8社
● 欧州	10社
● 中東	5社
● その他	10社
国内	
関係会社	33社

海外売上高 / 海外売上比率

1,325億円 / 52.8%



※第153期は、決算期変更により2017年4月1日から2017年12月までの9か月決算となっております。前第2四半期は2017年4月1日から2017年9月30日の実績を記載しています。

Topical News

トピックス

荏原グループの動き (2018年1月 → 2018年6月)

- 1 JAN**
 - 決算期変更後の新事業年度がスタート
 - 所沢市西部クリーンセンター長期包括運営業務委託を受注
- 2 FEB**
 - テレビ東京系列「知られざるガリバー」で当社事業が放映
 - 東日本大震災復興支援「心の復興マルシェ」を開催
 - 藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業を受注
- 3 MAR**
 - 第2回次世代火力発電EXPOに出展
 - 「ミライリケジョ〜モノづくりカフェ〜 2018」を開催*
*株式会社講談社が運営する理系女子応援サービス[Rikejo]と共同主催
 - ソヤノウッドパワー株式会社向け
木質バイオマス発電所建設工事を受注
 - 第153期定時株主総会を開催
- 4 APR**
 - 環境配慮型製品「新型ターボ冷凍機」「新型吸収冷温水機」を発売
 - イタリアのポンプ生産能力を増強(新工場移転)
 - 東北中央自動車道/栗子トンネルに換気設備を納入
 - 荏原環境プラント株式会社がドイツ・マルチン社とパートナーシップ契約を締結
- 5 MAY**
 - 荏原グループのESG重要課題(マテリアリティ)を選定
 - ドライ真空ポンプ 藤沢工場累計出荷台数15万台を達成
 - EOI国際シンポジウム*を開催
*「The 1st Ebara Open Innovation International Symposium on CMP」
 - 女性活躍推進法に基づく優良企業認定マーク「えるぼし」の最高位を取得
- 6 JUN**
 - 始動時間を短縮させた吸収冷温水機が「一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞」を受賞
 - カンボジアでポンプのセミナーを実施
 - 大阪支社で個人株主様向けに会社説明会を開催
 - 個人投資家の皆様向けに会社説明会を開催



心の復興マルシェ会場の様子



ミライリケジョ〜モノづくりカフェ〜 2018 提供: 株式会社講談社Rikejoマガジン 50号掲載



イタリアの新工場全景 (Gambellara Plant)



15万台目のドライ真空ポンプ EOI国際シンポジウム 講演者の皆さん



カンボジアでのポンプセミナー受講生の皆さん

IRカレンダー



地域・社会とのコミュニケーション

ベトナム ホーチミンで「畠山清二記念荏原基金」セミナーを開催しました

「畠山清二記念荏原基金」は、2018年3月22、23日の2日間、ベトナム/ホーチミンのベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)でポンプと冷凍機の技術セミナーを開催し、ポンプの基礎知識、冷凍機の選定方法などの講義を行いました。

今年で7回目となるセミナーを、大学講師や学生、民間企業の現地従業員など約60名の方が受講されました。

発展目覚ましいベトナムでは、高層ビルや工場の建設が進み、それらの給排水設備や空調設備で使われるポンプや冷凍機、冷却塔の知識や技術力が求められています。

荏原基金のこのような教育支援活動が、アジア各国の学生や技術者の学力、技術力向上に貢献しています。



セミナー風景

畠山記念館のご案内

当社の創業者である、畠山一清(号・即翁)愛蔵の美術品を受け継いだ畠山記念館は、1964年に開館以来、茶の湯の美術館として親しまれています。収蔵品は、国宝6件、重要文化財33件を含む約1,300件です。春は苑内の樹齢100年を超す枝垂桜が花盛りを迎え、秋から冬にかけては紅葉が見頃となり、展示室からお楽しみいただけます。

春夏秋冬、季節の移り変わりごとに年4回、作品を取り合わせて展覧会を開催していますので、当館所蔵の名品をぜひお楽しみください。当社グループは畠山記念館を後援しています。

2018年度上期は以下の展覧会を開催し、大勢の方にお運びいただいています。

春季展 4月～6月 『没後200年 大名茶人 松平不昧と天下の名物 一「雲州蔵帳」の世界』

夏季展 8月～9月 『涼を愉しむ一畠山即翁の朝茶の会 併設：狩野派の絵画と江戸の工芸』(※夏季展は9月17日まで開催しています。)

詳しくは、当記念館のホームページをご参照ください。

従来、報告書に掲載しておりましたご招待券は2017年12月発行の報告書よりチケット形式に変更しました。2018年度下期の展覧会ご招待券を同封しておりますのでご確認ください。

畠山記念館

〒108-0071 東京都港区白金台2-20-12

TEL 03-3447-5787

<http://www.ebara.co.jp/csr/hatakeyama/>

(休館日)月曜日(祝日のときは翌火曜日)・展示替期間



重要文化財 井戸茶碗 銘 細川 朝鮮時代 (2018年度 春季展に出展しました)



錠花入 野々村仁清作 江戸時代 (2018年度 夏季展に出展しました)

女性活躍推進法に基づく優良企業認定マーク「えるぼし」の最高位を取得しました

2018年5月21日付で、「女性活躍推進法」に基づき、女性の活躍推進の取組状況などが優良な企業に厚生労働大臣より与えられる「えるぼし」の最高位/第3段階の認定を取得しました。経営戦略としてダイバーシティ推進に取り組む中で、女性社員の活躍推進策としては、女性管理職比率の向上を目指し、新卒採用強化、キャリア形成支援の加速、管理職を対象としたダイバーシティマネジメント研修の実施、仕事と育児・介護の両立支援等を実施してきました。

2018年度からは働き方改革として、生産性向上にも取り組み始めました。今後も女性活躍推進企業として、当社グループの女性社員全員が「生き生きと働き」「ワクワクする仕事に挑戦し」「最高のパフォーマンスを生み出す」ことができるように、実効ある施策を推進してまいります。



株主・投資家とのコミュニケーション

2018年3月 第153期定時株主総会を開催しました

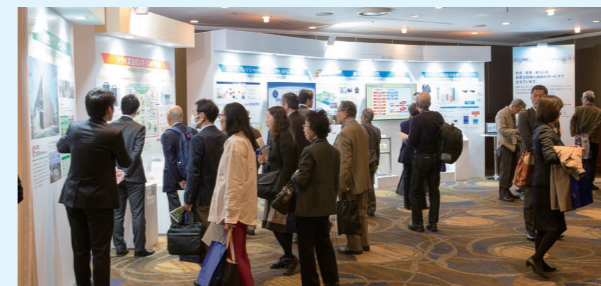
2018年3月28日、東京都港区のSHINAGAWA GOOS「TKPガーデンシティ品川 ボールルーム」にて第153期定時株主総会を開催しました。議長 前田より事業報告、トピックスなどについて説明後、「剰余金の処分の件」「取締役13名選任の件」の2議案を審議し、原案通り承認可決されました。

出席者数	363名
質問者数(質問数)	6名(11問)
所要時間	1時間21分



今年度の展示コーナー

映像・ポンプのカットモデルなどを用いて、新製品をご覧いただきました。



議長 代表執行役社長 前田 東一

定時株主総会の詳細は、当社WEBサイトをご覧ください。

<https://www.ebara.co.jp/about/ir/stock/shareholdersmeeting/index.html>

2018年6月 大阪にて2つの会社説明会を開催しました

当社事業について、より多くの個人株主及び個人投資家の皆様に一層のご理解をいただくことを目的に、大阪では初となる会社説明会を開催しました。多くの方にご参加いただき、執行役 グループ経営戦略統括部長 永田より当社の概要などについて説明した後、たくさんのご質問やご意見をいただきました。

●個人株主向け会社説明会

開催日	2018年6月12日(火)
開催場所	当社 大阪支社
参加者数	約30名



執行役 永田より当社の概要をご説明しました。

●個人投資家向け会社説明会

開催日	2018年6月13日(水)
開催場所	野村證券株式会社 なんば支店
参加者数	約70名



1時間ほどかけて、当社の事業や強みについてご説明しました。

当日の様子や配布資料は、当社WEBサイトをご覧ください。

●個人株主向け会社説明会▶https://www.ebara.co.jp/about/ir/releases/details/1223852_3601.html

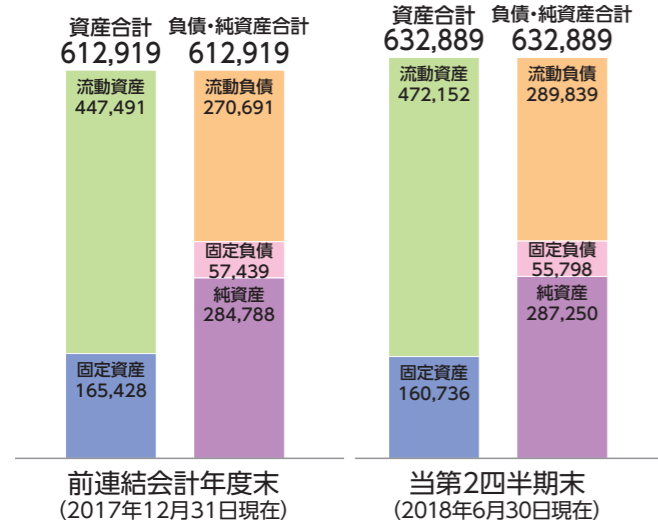
●個人投資家向け会社説明会▶https://www.ebara.co.jp/about/ir/releases/details/1224101_3601.html

Financial Information

財務情報 (2018年6月30日現在)

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



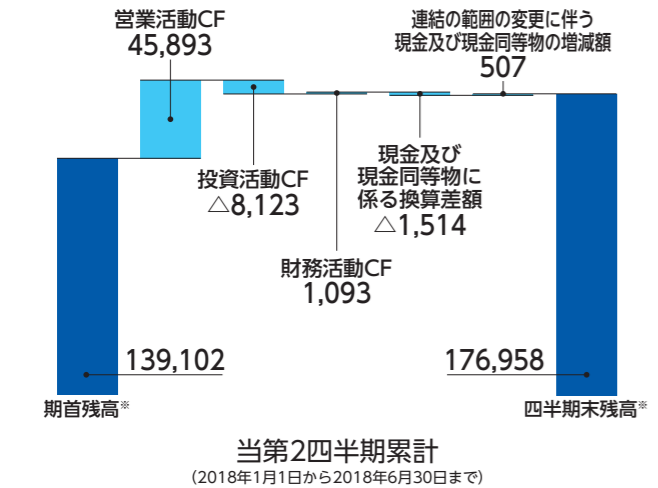
連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2018年1月1日から 2018年6月30日まで
売上高	206,798	251,257
売上原価	155,678	187,387
売上総利益	51,120	63,870
販売費及び一般管理費	46,004	49,148
営業利益	5,116	14,722
営業外収益	521	1,503
営業外費用	1,750	2,054
経常利益	3,886	14,171
特別利益	1,308	406
特別損失	105	3,098
税金等調整前四半期純利益	5,089	11,478
法人税等	1,530	3,389
四半期純利益	3,559	8,089
非支配株主に帰属する 四半期純利益	456	617
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,103	7,471

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



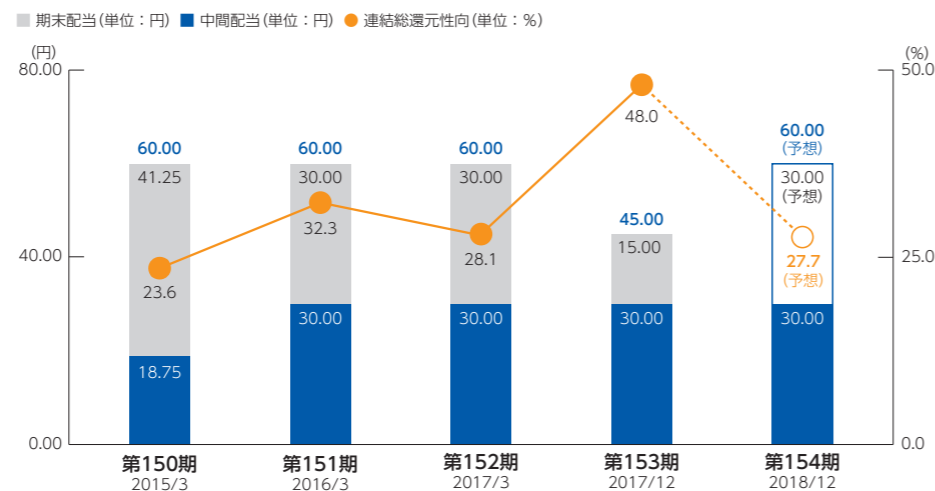
※「期首残高」及び「四半期末残高」は現金及び現金同等物の残高

株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針の一つとして位置付けており、連結総還元性向30%以上を目標に当該期の業績に連動して実施する方針です。

当期の中間配当金については、1株当たり30円とさせていただきます。

● 1株当たり配当金/連結総還元性向の推移



※ 前期の第153期は、9か月決算となる過渡期のため連結総還元性向は40%を超えています。(当社は、2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しました。上記のグラフでは、第150期の期首に株式併合が行われたと仮定して表示しています。)

Corporate Information

企業情報 (2018年6月30日現在)

会社概要

商号 株式会社荏原製作所
本社所在地 〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話 03-3743-6111 (ダイヤルイン代表)
創業 1912年(大正元年)11月

資本金 790億円
従業員数 3,931名(連結16,541名)
関係会社 子会社91社(うち連結子会社61社)
関連会社6社

役員

取締役

取締役会長 矢後 夏之助 社外取締役 大枝 宏之
取締役 前田 東一* 社外取締役 橋本 正博
社外取締役 宇田 左近 取締役 藤本 哲司
社外取締役 国谷 史朗 取締役 大井 敦夫*
社外取締役 佐藤 泉 取締役 津村 修介
社外取締役 澤部 肇 取締役 野路 伸治*
社外取締役 山崎 彰三 *は執行役兼務

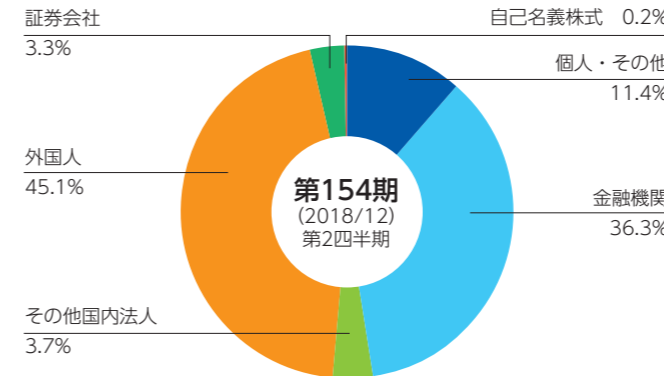
執行役

代表執行役社長 前田 東一 執行役 長峰 明彦
執行役専務 辻村 学 執行役 宮下 俊彦
執行役専務 大井 敦夫 執行役 勝岡 誠司
執行役専務 野路 伸治 執行役 喜田 明裕
執行役常務 木村 憲雄 執行役 沖山 喜明
執行役常務 浅見 正男 執行役 永田 修
執行役 中山 亨

株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株
発行済株式の総数 101,923,253株
株主数 22,131名

所有者別株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,936	8.8
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	7,170	7.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,163	6.1
THE BANK OF NEW YORK 133522	3,182	3.1
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	2,085	2.0
全国共済農業協同組合連合会	2,054	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,036	2.0
株式会社みずほ銀行	2,000	2.0
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1,691	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,581	1.6

(注)持株比率は、自己名義株式(190,688株)を控除して計算しています。

株式事務

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月に開催
基準日 12月31日
その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日 12月31日
中間配当を実施するときの株主確定日は6月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告 <http://www.ebara.co.jp>

ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

証券コード 6361

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

抽選で20名様に

荏原グッズ プレゼント!!

株主・投資家の皆様とのより良いリレーションを築くため、
当社WEBサイト改善のためのアンケートを実施いたします。
ぜひ皆様のお声をお聞かせください!

WEB
アンケートに
答えて
当たる!

賞品

アンケートに回答いただいた方の中から抽選で20名様に
荏原 片吸込渦巻ポンプ プラモデル(非売品)をプレゼント

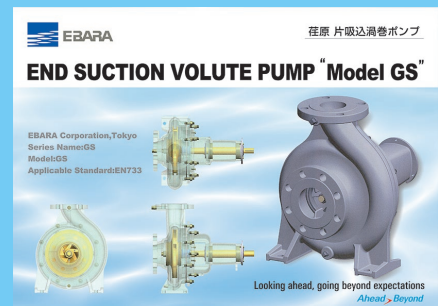
応募資格

2018年6月30日現在、当社株式を100株以上保有の株主の方

応募方法

下記URLまたはQRコードから当社WEBサイトに
アクセスのうえ、ご回答ください。

<https://www.ebara.co.jp/about/ir/survey/>



賞品の写真

応募締切

2018年10月5日(金)



- ご応募多数の場合は抽選となります。厳正な抽選のうえ、当選発表はご当選者への発送をもって代えさせていただきます。
- ご応募は、おひとり様1回のみとさせていただきます。
- 賞品のお届け先は、日本国内のみとさせていただきます。
- ご当選者への賞品の発送は11月上旬の予定です。やむを得ない事情により賞品の発送が若干遅れる場合がございますので予めご了承ください。

個人情報の取り扱いについて

今回ご応募いただきました株主様の個人情報は、本アンケート以外の目的では一切使用いたしません。

お問い合わせ先

株式会社荏原製作所
経営IR課 SR担当

TEL:03-3743-6111 (ダイヤルイン代表)

受付時間 9:00~17:00(土・日、祝日その他会社の休業日を除く)



株式会社 荏原製作所

発行：ガバナンス推進部 経営IR課
〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話 03-3743-6111 (ダイヤルイン代表)

